



グローバルスタディーズ学部

発行日 平成30(2018)年4月1日

学部長あいさつ

「さあ～新学期が始まります！」

SGS Newsletter 第23号をお届けします。

2018年を迎え、昨年以上に飛躍の年にしてまいります。海外留学・研修、インターンシップ、藤沢市・藤沢市観光協会依頼プロジェクト、そして卒業式・入学式を経て新たなステップへの門出となります。

昨年度の秋学期を振り返ると、グローバルスタディーズ学部が藤沢市との関係を強化し、定着させた学期であったといえます。夏季の「多言語メニュー作成支援」から始まり、11月4日(土)～5日(日)の学園祭では、銅メダリストの立石涼元競泳オリンピック選手の講演、振付師の南流石さんの講演で「ふじキュンダンス」の披露がありました。ふじキュンをはじめとする地元の「ゆるキャラ」の出演、ふじさわ観光名産品の販売、セーリングに関する展示を行うなど、2020年東京オリンピック・パラリンピックがいよいよキャンパスに於いても走り出した雰囲気味が味わえたかと思います。

11月25日(土)にはオリンピック・パラリンピック関連ボランティア・ワークショップにSGSの4年田口杏さん、3年田澤輝広君、1年吉田善哉君の3名(写真①)を派遣し、その内2名はグループディスカッションの内容をまとめて発表しました。また同日、橋詰学生委員長指導のもと、SGS生の山本菜実さん(3年生)を代表として第2回「ぶらりゴミ拾い」イベントが開催されました(写真②)。これは日本大学のキャンパスからSGSキャンパスまで歩きながらゴミを拾い、その重さを競うイベントです。当日、宮治副市長も参加してくださいました。さらに、12月9日(土)、江の島で開催された「フィッシャーメンズ・プロジェクト」は、堂下ホスピタリティマネジメント・コース長の統括のもと、16名のSGS生が参加いたしました。春休み中「フィッシャーメンズ・プロジェクト」の第二弾が2月10日(土)(写真③)に開催されました。

嬉しいことに例年の連携に加えて藤沢市観光協会様からご依頼を頂き、1月に「七福神めぐり事業」の全日程でSGS生を派遣いたしました。さらに学生の活動が実を結び2月から3月末にかけても藤沢・江の島宝探し「エノシマトレジャー」の依頼にもお声掛け頂きました。こうした連携により敬語を使いSGS生たちは大人と接することで、社会について学ぶ機会を得ることになります。

国際交流に関しては、藤沢市との提携の一環として台湾の高雄市にある義守大学と11月7日(火)に交流協定を締結いたしました。昨年3月に台湾の真理大学と交流協定を締結し、9月には16名のSGS生を派遣した時の企画と同様に、3月24日(土)から29日(木)の日程にて義守大学で研修を実施いたしました。この研修には高大連携校である藤沢翔陵高等学校から生徒8名および帯同教員1名にご参加いただきました。SGS生は高校生と一緒に義守大学および付属高校の学生に対して英語で発表を行いました。そのために、藤沢翔陵高校の生徒と合計4回練習会を開催いたしました。さらにこの台湾研修では、SGSに通っている台湾からの交換留学生が一時帰国していたため、合流して本研修を共に受講しました。交換留学生の視点で見ると、日本人学生との交流をSGSキャンパスだけではなく、彼らの地元でも行えたことにもなります。高大連携校や交換留学生と共に海外研修を行えたことは、国境を越えた地域貢献、交流の一環といえるのではないのでしょうか。

2018年は、こうした活動が益々増えることになるでしょう。7月から8月にかけてオリンピック・パラリンピック関連のテストマッチ、10月にはセーリングのワールドカップが江の島で開催されます。こうしたイベントに向けて学生の育成、さらには藤沢市を中心とした国際交流も活発化することは必至でしょう。

今後のスケジュール

4月2日(月)

TOEIC試験

4月3日(火)～4月4日(水)

オリエンテーション

4月5日(木)

入学式

4月6日(金)

春学期 授業開始

4月13日(金)～4月19日(木)

春学期 履修科目登録期間

4月20日(金)～4月26日(木)

春学期 履修科目確認期間

4月30日(月)

振替休日(授業あり)

5月3日(木・祝)

憲法記念日(授業あり)

5月14日(月)～5月18日(金)

春学期 履修科目中止期間

7月21日(土)

TOEIC試験

発行責任者:

学部長 安田 震一

多摩大学

グローバルスタディーズ学部

〒252-0805

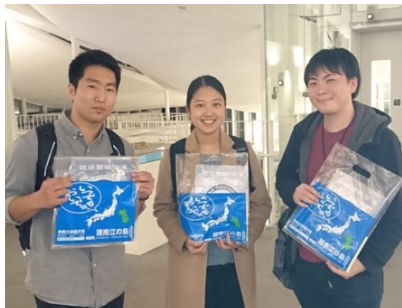
神奈川県藤沢市円行802番地

TEL: 0466-82-4141

http://www.tama.ac.jp/



学部長 安田 震一
(ヤスダ シンイチ)
William Shang



写真①



写真②



写真③

SGSにおける地域との連携「I Love湘南Project」

グローバル社会での活躍を目指すSGSは、同時に地域（ローカル）を大切に、この二つは一致すると考えています。グローバル glocalな活動です。SGSでは従来より学生会執行部やサークル等が湘南台等との地域交流活動を行ってきましたが、平成27年11月の藤沢市・藤沢市観光協会との三者協定以降、市や関係団体からの依頼等による事業も増えてきています。SGSは29年6月、そうした活動に関心のある学生を登録し、教職員も積極的に関わって推進する仕組み「I Love湘南Project」を発足させました。

3月末現在約130人が登録されており、ここまで藤沢市観光協会の依頼で多言語メニュー作成、藤沢七福神めぐり、エノシマトレジャーの各事業の支援を、藤沢市シティプロモーション課の依頼でキュンダンスワークショップを、江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクトの依頼で海藻シンポジウム支援を、藤沢市文化団体連合会の依頼で伝統文化体験ひろば支援、等を行って来ました。



29年9月15日多言語メニュー支援



30年1月20日藤沢七福神めぐり



30年2月17日エノシマトレジャー



29年12月27日キュンダンス

「ぶらりごみ拾い」

ここではI Love湘南Projectの一環として、藤沢市環境部に加え日大とも連携して行われているごみ拾いイベント「ぶらりごみ拾い」を紹介します。これは27年のSGS祭でEco多摩サークルが藤沢市と共催したスポーツごみ拾いについて、28年より、日大生物資源科学部の参加も得て、両大学の学生と藤沢市環境事業センターよりなる「ぶらりごみ拾いin六合実行委員会」の主催により実施しているものです。

日大での開会式では、副委員長・SGS 3年山本菜実の司会により、委員長・日大3年川上健一郎、黛・藤沢市環境部長の挨拶、藤沢市分別戦隊3Rsによるパフォーマンス、SGS 2年金子遥によるルール説明と進み、六会中学校3年田澤さんの選手宣誓等の後、実行委顧問・安齋日大教授の号令により出発。1Km離れたSGSまで1時間で一人当たり最も多くのごみを集めたチームが優勝というルールで行われました。

ゴールのSGS中庭では、SGS実行委員らにより焼きそば等が参加者に振舞われました。六会中学校が優勝、六会生活環境協議会が2位、藤沢市地球温暖化対策地域協議会が3位。六会中学校に「フレッシュ賞」、シロキ工業に「国際交流賞」が贈られました。集められたごみ計約93kg。

今秋には第3回を行う予定ですが、加えて5月19日には同様のイベントを寒川町環境課・寒川町観光協会とともに寒川町でも行うこととなり、SGS生が実行委員会を組織して準備を進めています。こうした活動が更に広がり、地域との交流とともに環境美化等が進むことを期待しています。



ぶらりごみ拾い受付



29年11月25日ぶらりごみ拾い開会式



ぶらりごみ拾い閉会式

◆◆ 春学期成績優秀者奨学生 ◆◆

多摩大学では特に学力が優れている学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

■1年
区分1(各学期分の授業料)

該当なし

区分2(5万円)

佐藤 泰河	Sato Taiga
川上 紗耶	Kawakami Saya
日下部 達志	Kusakabe Tatsushi
鈴木 聖生	Suzuki Masaki
木田 彩花	Kida Ayaka
大岩 稔姫	Ooiwa Naruki
田尻 彩音	Tajiri Ayane
恩田 桃花	Onda Momoka
岸 亜紗妃	Kishi Asahi

■2年
区分1(各学期分の授業料)

該当なし

区分2(5万円)

原田 花鈴	Harada Karin
堀口 奈々	Horiguchi Nana
神谷 雄太	Kamiya Yuta
小林 永人	Kobayashi Eito
坂本 貴彦	Sakamoto Takahiko
原 佳子	Hara Keiko

■3年
区分1(各学期分の授業料)

エミリー ハウゲン	Haugen Emilie
-----------	---------------

区分2(5万円)

西田 良太	Nishida Ryota
Huang Shiling	Huang Shiling
津留崎 帆南	Tsurusaki Honami
峰岸 萌香	Minegishi Moka
矢作 真志	Yahagi Masashi
宋 凱茹	Song Kairu
岡部 多笑	Okabe Taemi
堀崎 未羽	Horisaki Miu
安藤 あすか	Andoh Asuka

Discover Asia Study Tour ～シンガポール研修報告～

3月4日(日)～11日(日)の8日間、参加学生36名、引率教職員4名の計40名でシンガポール海外研修を行いました。

協定校であるナンヤンポリテクニクの学生寮に宿泊し、観光学及びホスピタリティについて講義を受け、指定されたテーマについて発表を行いました。

また、マリーナベイ・サンズやユニバーサル・スタジオ・シンガポールの見学など、様々な異文化体験ができました。



春の長期留学

2月から2名の学生が長期語学留学へ出発しました。また、4月より1名の学生が長期語学留学へ出発します。

留学先：ビクトリア大学（オーストラリア）、クイーンズランド大学（オーストラリア）、アッパーマディソンカレッジトロント校（カナダ）

春休み短期留学

春休みに6名の学生が短期語学留学をしました。

留学先：ハワイ大学マノア校（アメリカ）2名、クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）2名、ビクトリア大学（カナダ）2名

春からの交換留学生

4月から7月までの期間、多摩大学が協定を結んでいる海外の大学から8名の交換留学生が湘南キャンパスで学びます。留学生の出身校は下記のとおりです。

国立暨南国際大学（台湾）5名、マカオ大学2名、東国大学（韓国）1名

マカオ大学研修

3月3日(土)～3月9日(金)に6泊7日で学生7名と引率教員2名（安田学部長、韓講師）がマカオ研修に参加しました。本研修は将来的にホスピタリティ・コースの正式科目として開講することを目指し、試行の位置づけで実施したものです。香港を経由してマカオに入った学生は、マカオ大学教員から統合型リゾートについての講義を受けるとともに現地を代表するリゾートホテル施設を見学するなど、世界を代表する観光の現場に触れる機会を持ちました。



学園祭（第11回SGS Festa）

11月4日（土）、5日（日）、学園祭「第11回SGS Festa」を開催する事ができました。

2日間とも天気に恵まれ、2日間で1,300人を超える来場者がありました。

今回のテーマは「Happy!～みんな笑顔にSGS」。まずは学生自身が飛び切りの笑顔で参加して、笑顔あふれる雰囲気をご来場者の皆様に味わっていただきたいという思いでこのテーマを決めました。

本番を迎えるまで紆余曲折があり、決して楽しい思い出ばかりの準備期間ではありませんでした。しかし、本番では飛び切りの笑顔を皆様に、そしてハッピーな気分を味わっていただけたかと思えます。

昨年の学園祭は「2020年東京オリンピック」を3年後に控え、オリンピックムードを高めるとともに藤沢市との連携を前面に打ち出し、地域に根付いたグローバルスタディーズ学部をアピールしました。藤沢市の東京オリンピック・パラリンピック開催準備室によるセイリングの写真展や観光シティプロモーション課と協力して南流石先生による「ふじきュンダンス教室」を開催しました。また、藤沢市出身のオリンピックメダリスト立石 諒氏に「夢を追う」というテーマで北島康介選手との具体的な交流やご自身の挫折から栄光を掴むまでの思いや努力についてのご講演をいただきました。

中庭では、1年生の各クラスが毎年恒例の世界各国の料理を提供したほか、SGS後援会様による「焼きそば」の販売に加え「ふじさわ観光名産品」の販売を行い、ご来場者の皆様に喜んでいただきました。

参加した学生達がこの学園祭でトライし学んだことを糧に、3年後の東京オリンピック・パラリンピックで本当の意味でのグローバルな「おもてなし」ができるようになることを期待しています。



平成30（2018）年度学生会執行部

学生会は会員（在学生全員）の総意に基づいて、組織内に所属する各種団体やサークル、学園祭などの活動を通じて学生がより良い学園生活、学生活動を送れるようにするとともに本学の発展及び地域に貢献することを目的としています。

学生会では12月に平成30（2018）年度学生会会長の立候補を受け付け、3年生の長谷川文哉君が選出されました。合わせて下記の通り執行部役員が任命されました。新体制のもと学内イベント、学園祭、サークル、地域活動などに参加してリーダーシップ力や協調性を身に付け、多摩大学全体の活性化に結びつけることを期待しています。

学生会会長：長谷川文哉（3年）
副会長：吉田善哉（2年）
会計：高橋一真（2年）
書記：中村仁音（2年）
広報：細谷怜央（2年）
サークル連合代表：桑野将春（2年）
学園祭実行委員会会長：西川貴洋（2年）

キャリア支援課

本学部の4年生(8期生)の内定率は3月14日現在約95.9%です。昨年度の最終の内定率は95.3%で、昨年度同様高い実績を維持できるものと思います。一方で卒業を控えた現在、まだ就職活動中の学生もあり、キャリア支援課として個別相談や企業と学生を直接つなぐなど支援に全力を尽くしています。下記は本学部の内定実績一覧です。2018年3月14日現在(重複内定含む)

製造業	(株)NSP、明光産業(株)、(株)桐井製作所、井関農機(株)、日本サーモスタット(株)、ニッカ(株)、(株)ショウエイ
情報通信業	(株)トラント、関越ソフトウェア(株)、(株)富士ソフト、(株)スリーイー、加賀ソルネット(株)、コムテック(株)、ハイテックシステム(株)、インターネットウェア(株)、プティックス(株)
運輸業、郵便業	(株)日本航空、全日本空輸(株)、ワールドエンタプライズ(株)、(株)郵便局物販サービス
卸売業、小売業	(株)メルローズ、(株)吉野工業所、TOKYOフレッシュ(株)、(株)オージーフーズ、(株)美装、(株)マークスアンドウェブ、小島電機工業(株)、(株)カインズ、(株)マルエツ、青山商事(株)、(株)ファイブフォックス、神奈川日産自動車(株)、ITX(株)、リンツ&シュプリングリージャパン(株)、コネクシオ(株)、(株)ノジマ、(株)エーアンドエス、西本商事(株)、(株)ベルーナ
金融業、保険業	横浜信用金庫
不動産業、物品賃貸業・建設業	東京セキスイハイム(株)、(株)TRUST、タケダ、住和不動産(株)、キングラン(株)
宿泊業、飲食サービス業	東京ベイヒルトン(株)、(株)エス・シー・エム(クラブメッド)、(株)すかいらく、(株)キープ・ウィルダイニング、(株)なだ万
教育、学習支援業	(学)長嶋学園城南静岡高等学校、NOVAホールディング(株)、(株)城南進学研究社
医療、福祉	(株)フレアス、(株)サンケイビルウェルケア、社会福祉法人喜寿福祉会、(株)ベネッセスタイルケア
サービス業	(株)ワールド航空サービス、(株)シノケングループ、(株)ヒューマネージ、(株)エイムコンサルティング、(株)エイブル、ミニット・アジア・パシフィック(株)、(株)オザム、セコム(株)、(株)アサンテ、バイオニズム、(株)ニチイ学館
公務	警視庁

学科長就任あいさつ 渡邊泰典

この4月からグローバルスタディーズ学部グローバルスタディーズ学科長に就任する渡邊です。

SGSにはグローバルスタディーズ学科があるのみであるため、今までは学部長がいるのみで学科長という役職は存在しませんでした。

今回、学科長という役職が新設されるに当たり、この大役を仰せつかりました。責任の大きさを感じつつ、今まで以上にSGSの発展のために尽くしていきたいと考えております。

SGSのミッションの拡大にともない、湘南地域や他大学との連携が活発化する中で、東奔西走する安田学部長の負担を少しでも減らし、学生や保護者の皆様のお力になれるよう努力して参ります。

すでにご承知のように、SGSはグローバルスタディーズ学科の下にホスピタリティマネジメントコースと国際教養コースの2つのコースを設置しております。ホスピタリティマネジメントコースにおいては、観光産業を始めとする高度サービス人材の育成、国際教養コースにおいては英語科教職課程を中心に英語を用いて活躍できるグローバル人材の育成を行っております。

2年生以上の学生はこれらのコースのどちらかを選択し、それぞれのカリキュラムにもとづき専門的な教育を受けることになります。このように早い段階から専門性を意識した教育を受けられることは、SGSのカリキュラムの特徴の1つです。

一方で、多くの学生や保護者と三者面談という形で関わってきた経験から、少なからぬ学生がこうした早い段階での専門の決定に戸惑っていることも感じております。そのような場合には、学習状況や専門コースの見直しによって状況を改善するお手伝いをいたしますので、ご遠慮なくご相談下さい。

専門性の獲得という意味では、3年生から始まるゼミナールも重要な意味を持ちます。これは3、4年生の2年間に渡って、同一の指導教員の下、少人数のゼミ生で専門的な事項について学ぶ場になります。

SGSではほとんどの講義で少人数クラスですが、ゼミナールでは半年で終了するのではなく、長期間に渡って学習する事ができるために、合宿などの通常の講義では行えない活動も可能となります。コース選択に加えて、ゼミナールも自分の専門性を高める機会として活用していただきたいと考えております。

以上、簡単ではありますが、学科長就任の挨拶といたします。これからのSGSの発展にもご期待ください。



2018年度オープンキャンパス(5月から8月)日程

5月27日(日)、6月17日(日)、7月15日(日)、7月29日(日)、8月5日(日)、8月26日(日)

開催時間はいずれも10:00から16:00。湘南台駅から無料シャトルバス運行!

★学部説明、入試制度説明、模擬授業、学生との交流、無料ランチ、個別相談など。

詳しくは入試課へ

Tel 0466-83-7911

email nyushi-shonan@gr.tama.ac.jp

